

2026年度研究コミュニティミツバチ前期募集要項

1. 募集対象

研究コミュニティミツバチの2026年度のメンバーの募集を行います。ミツバチは、「研究が好きな人誰もが、研究を好きでいられる世界」を目指して、「未来の研究者の巣をつくる」をミッションとしております。その中で、コミュニティを一緒に作り、盛り上げていけるようなメンバーを募集します。

HP: <https://mitsubachi-researcher.jp/>

ミツバチメンバー に求められていること

ミツバチのメンバーには自分の研究を頑張りたいと考えています。その際に研究の資金やプログラムを支援したり、仲間を見つける手助けを私たちはします。

ただし、それはみなさんが受動的にしていたら生まれるものではないです。実は私たちの初期メンバーの方から脈々と続く、助け合いの心から生まれています。彼らがやってくれたから、ということで次の世代がみなさんを助けてくれるのです。(下記のAppendixを確認してください。)

なのでみなさんにはぜひミツバチのコミュニティへ積極的に参加して欲しいです。”参加”にはたくさん方法があります。スラックを追いかけて反応をする・返信をするだけでも”参加”です。イベントを企画したり、他の人を助けるのも”参加”です。

お互いに助け合って互いに研究を高め合えるような方を私たちは探しています。

2. 応募資格:

学生枠:

- 高校生から博士課程まで(社会人博士を除く)
- 研究に熱意があること、研究が好きであること

社会人枠

- 学位を取得している(ない場合はどのような研究のキャリアを踏まれたか詳細にお伝えください。)

- 後輩を長い目で支援する気持ちがある
- 研究に熱意があること、研究が好きであること

※運営の方で面談をした際にコミュニティとマッチしないと考えられる方はお断りする可能性があります。

3. 締切日:

書類(Google form)提出締め切り 2026年6月末日

4. 選考方法

選考は最大二段階で行われます。

まず、書類審査です。下記のGoogleフォームを提出することで完了します。

<https://forms.gle/tm3JmKsMrYs4jBv48>

※募集対象に書いてある通り、研究への思いを大切にするコミュニティです。その思いをぶつけるように書類に記述してください。

次に、面談審査です。ミツバチ運営の方から個別に面談を実施する予定です。面談は

ZOOMにて行われます。時間としては30分～1時間程度です。
※面談をしない場合もあります。

そして審査を通過した方は8月の中旬ごろを目処にご連絡を差し上げます。

5. 連絡先:

ミツバチ運営

mitsubachi.researcher@gmail.com

6. 個人情報の取り扱いについて

応募者から提供を受けた個人情報については、その利用目的を選考及びコミュニティ運営事業 遂行するために必要となる業務に限定するとともに、「プライバシーポリシー (<https://queen-b.com/privacy-policy/>)」に従い、適切に管理いたします。

Appendix

Mission

新しい研究者の巣をつくる

ミツバチメンバーで作り出すのは新しい研究者の巣です。”新しい”とは単純に”次世代の”というわけではありません。”新しい”には字義通りの新しい研究環境の構築も含まれています。そのため私たちはつながり、お互いに進んでいくのです。

Vision

研究を好きな人誰もが研究者を目指せる社会

研究コミュニティミツバチは大きなMitsubachi PJの一部です。ただしPJとして一貫していることがあります。それは研究好きに研究者を目指せるような社会です。その一環として私たちはこのようなコミュニティも行うのです。

価値観

私たちのミツバチの巣の価値観を記します

研究好き

これは私たちをつなぐ唯一のそして強力な価値観です。研究好きであればミツバチメンバーであり、その集合体としてのコミュニティがミツバチの巣です。

助け合い

研究は常に助け合ったり情報を共有することで進んでいく、人類の知の結晶です。その価値観は私たちの巣の価値観の大きな根幹をなします。きっと情報を求めれば返信があり、メンバーが助けてくれるはずです。であるならば互いに助け合いをすることが私たちの価値観です。

チャレンジしよう

研究は新たなことへのチャレンジの連続です。ミツバチは常に新たなシステム(コミュニティ、研究、世界、etc.)をつくるプロジェクトは大歓迎です！ミツバチでお金とメンバーを探して一緒に新しいものを作っていきましょう！

シェアする

これは助け合いとほとんど同じですが、これも皆さんのために明言をします。研究は上述の通り情報の共有によって進んでいきます。皆さんが得た知見や知識は積極的にシェアをして人類の知を支えていきましょう。